

第16回 河川生態学術研究発表会

開催のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

河川生態学術研究会では、生態学と河川工学の研究者が共同で川のあるべき姿を探ることを目的として、生態学的な観点より河川を理解するための研究活動を実施し、河川の本質の理解を深め、新しい河川管理に資する総合的な研究を進めています。

現在4つの河川別研究グループ及び河川総合研究グループが活動しています。この度、応用生態工学会との共催によりこれらの研究グループによる研究成果等を一同に会して発表し、幅広い意見交換と情報共有の場として研究発表会を開催いたします。

この研究発表会が研究者、現場技術者、コンサルタント、NPOの方々など、様々な活動内容と立場の皆様の参加を得て、更なる研究の充実、質の向上を図る場となりますよう、多数のご参加をお待ちしております。

敬具

平成25年10月吉日

河川生態学術研究委員会 委員長 中村 太士
応用生態工学会 会長 谷田 一三

記

開催日時・会場:

日時：平成25年11月13日(水) 10:30～17:30
内容：各研究グループの研究発表（口頭発表・ポスター発表）
場所：東京証券会館ホール
東京都中央区日本橋茅場町 1-5-8
TEL：03-3667-9210
定員：300名程度

主催:

河川生態学術研究会，応用生態工学会

問い合わせ先:

公益財団法人リバーフロント研究所内 河川生態学術研究会事務局
担当：坂之井 和之、伊藤 将文、横田 潤一郎
Tel：03-6228-3860
Fax：03-3523-0640
E-mail：rfc-event@rfc.or.jp

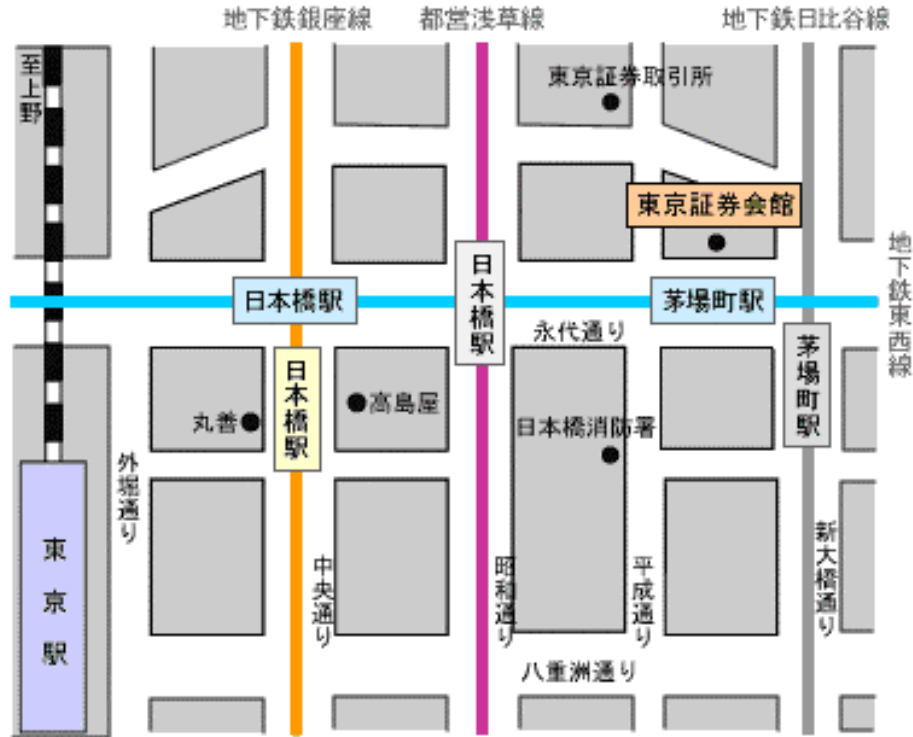
CPD認定:



「第16回 河川生態学術研究発表会」セミナーは、土木学会継続教育（CPD）制度の中級者、上級者向けのプログラムとして認定されています（6.5単位）

会場案内

日時: 平成 25 年 11 月 13 日(水) 10:30 ~ 17:30
開催場所: 東京証券会館ホール
 東京都中央区日本橋茅場町 1-5-8
 TEL : 03-3667-9210
アクセス: 東京メトロ 東西線・日比谷線 茅場町駅 8 番出口直結
 東京メトロ 銀座線・東西線、都営浅草線 日本橋駅 D2 出口 徒歩 5 分
 JR 東京駅 八重洲北口 徒歩 10 分



乗用車でお越しになる場合、首都高速 呉服橋出口から約 5 分
 駐車場等については、東京証券会館までお問い合わせ下さい。
 河川生態学術研究会事務局では、「駐車料金の領収書」の発行は致しません。

参加申し込み (申し込み期限: 11月6日(水))

公益財団法人リバーフロント研究所内 河川生態学術研究会事務局 伊藤 将文 行
 ファックス: 03 - 3523 - 0640

E-mail: rfc-event@rfc.or.jp

| | |
|-------|--|
| ふりがな | |
| 氏名 | |
| 所属 | |
| 連絡先 | E-mail: |
| | 電話: |
| 同行者氏名 | |
| 懇親会 | (いずれかに) 参加 / 不参加 懇親会 (18:00 ~ 19:30 会場未定) 参加費: 4,000 円 / 人 程度 |

第16回 河川生態学術研究発表会プログラム

日時：平成25年11月13日(水) 10:30～17:30

於：東京証券会館(東京都中央区)

[*は発表者]

| | | | | |
|---|-----------|-------|---|-------|
| I. 開会挨拶 | 河川生態学術研究会 | 10:30 | ～ | 10:35 |
| II. 研究グループの研究発表(午前の部) | | | | |
| 1 十勝川研究グループ 座長:中村 太士 代表 | | 10:35 | ～ | 11:20 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 十勝川河川生態学術研究の進捗状況(概況) 中村 太士 代表 ・ シロザケ個体群の多様性維持における河床間隙水および河川地形の役割 <ul style="list-style-type: none"> * ト部 浩一(北海道立水産孵化場 研究主任) 下田 和孝 ・ 人工放流による河道の変化(仮題) <ul style="list-style-type: none"> * 渡邊 康玄(北見工業大学 工学部 教授) 川岸 秀敏, 武田 淳史 | | | | |
| 2 千曲川研究グループ 座長:平林 公男 代表代理 | | 11:20 | ～ | 12:20 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 概要報告 中村 浩志(信州大学 名誉教授) ・ 千曲川中流域の生物からみた特徴とインパクト・レスポンス <ul style="list-style-type: none"> * 島野 光司(信州大学 理学部 物質循環学科 准教授) ・ 千曲川中流域の生物生産性 <ul style="list-style-type: none"> * 平林 公男(信州大学 繊維学部 応用生物学系生物資源・環境科学課程 教授) ・ 千曲川における一次生産力の推定 - 3地区における差違とその要因 - <ul style="list-style-type: none"> * 萱場 祐一(独立行政法人土木研究所 水環境研究グループ 上席研究員) | | | | |
| ***** 昼 食 ***** | | 12:20 | ～ | 13:35 |
| III. ポスターセッション(講演会場外) | | 12:20 | ～ | 13:35 |
| | コアタイム: | 12:40 | ～ | 13:30 |
| IV. 研究グループの研究発表(午後の部) | | | | |
| 3 多摩川研究グループ 座長:星野 義延 代表 | | 13:35 | ～ | 14:35 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 題目未定 星野 義延 代表 ・ 流域の地質特性と人間活動の影響に着目した多摩川の河相・生物相に関する研究 <ul style="list-style-type: none"> * 知花 武佳(東京大学大学院 工学系研究科 社会基盤工学専攻 准教授) ・ 題目未定 <ul style="list-style-type: none"> * 加賀谷 隆(東京大学大学院 農学生命科学研究科 助教) | | | | |
| 4 斐伊川研究グループ 座長:山室 真澄 代表 | | 14:35 | ～ | 15:20 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 人との相互作用によって持続する汽水湖生態系の構築 山室 真澄 代表 <ul style="list-style-type: none"> 浅枝 隆, 井上 徹教, 大谷 修司, 神谷 宏, 清家 泰, 勢村 均, 谷 幸則 ・ 宍道湖での貧酸素水塊形成機構の解明 <ul style="list-style-type: none"> * 井上 徹教(独立行政法人港湾空港技術研究所 海洋・水工部 上席研究官) 神谷 宏, 管原 庄吾, 中村 由行() ・ 2012年夏季の宍道湖における溶存硫化物の平面分布 <ul style="list-style-type: none"> * 管原 庄吾(島根大学 総合理工学部) 山室 真澄, 勢村 均, 神谷 宏, 井上 徹教, 嘉藤 健二, 清家 泰 | | | | |
| 5 総合研究研究グループ 座長:萱場 祐一 代表 | | 15:20 | ～ | 15:50 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 河川総合研究グループにおける研究の進め方 - 流量・地形変化、樹林化に着目して - <ul style="list-style-type: none"> * 萱場 祐一(独立行政法人土木研究所 水環境研究グループ 上席研究員) ・ 長期流量データを用いた広域流況解析の重要性 <ul style="list-style-type: none"> * 三宅 洋(愛媛大学 工学部 環境建設工学科 准教授) | | | | |
| ***** 休 憩 ***** | | 15:50 | ～ | 16:00 |
| V. 総合討論 | | 16:00 | ～ | 17:30 |
| コーディネーター: 萱場 祐一(河川総合研究G)、星野 義延(多摩川研究G) パネラー: 江崎 保夫(技術援助委員)、山室 真澄(斐伊川研究G)、 中村 太士(十勝川研究G)、平林 公男(千曲川研究G) | | | | |
| VI. 閉会挨拶 | 応用生態工学会 | 17:30 | ～ | 17:35 |

第15回 河川生態学術研究発表会 ポスターセッション

日時：平成25年11月13日(水) 12:40～13:30 (ポスター閲覧時間 12:40～13:35)

於：東京証券会館(東京都中央区)

[*は発表者]

1. 十勝川研究グループ

- 1-A: 水域から陸域への資源供給量はフラッシュ放流に影響されるか？
* 渡辺 のぞみ(北海道大学大学院 地球環境科学研究所)
根岸 淳二郎, 中村 太士
- 1-B: 森林ネットワーク強度とネズミ類の分布の関係: 河畔林の意義を探る
* 赤坂 卓美(北海道大学大学院 農学研究所)
山形 知美, 中村 太士

2. 千曲川研究グループ

- 2-A: 繁殖期の増水が鳥類に与える影響
* 中村 浩志(信州大学 名誉教授)
笠原 里恵
- 2-B: 千曲川中流域(千曲市戸倉地区)での自然再生事業における底生動物のインパクト・レスポンス
～ 遺伝的多様性に着目した評価の試み～
* 斎藤 梨絵(信州大学大学院 総合工学系研究科)
関根 一希, 東城 幸治

3. 多摩川研究グループ

- 3-A: 多摩川中流河川敷の池の環境と両生類の個体群動態(仮)
* 戸田 光彦(一般財団法人自然環境研究センター 主席研究員)
- 3-B: タイトル未定
* 石神 孝之(独立行政法人土木研究所 水工研究グループ 上席研究員)
- 3-C: タイトル未定
* 真野 浩行(独立行政法人土木研究所 水環境研究グループ 研究員)

4. 斐伊川研究グループ

- 4-A: 光合成色素を指標とした宍道湖における植物プランクトン相の季節変化
* 谷 幸則(静岡県立大学 環境科学研究所 准教授)
望月樹里, 山本貴幸, 宮廻隆洋, 神谷 宏, 勢村 均, 向井哲也, 大谷修司, 山室真澄
- 4-B: 宍道湖における数値解析を用いた貧酸素水塊の動態解明
* 中村 佑希(東京理科大学 理学部 物理学科)
井上徹教, 神谷 宏, 山室真澄
- 4-C: ヤマトシジミの硫化水素耐性
* 管原 庄吾(島根大学 総合理工学部)
勢村 均, 清家 泰, 山室 真澄